

感染症発生動向調査情報(週報)

2015年05週(01月26日～02月01日)

山梨県内流行情報

インフルエンザは、県内の全ての地域において、定点当たり報告数が前週より減少しましたが、依然警報レベルが継続していることから引き続き県内全域で警戒が必要です。さまざまな感染症予防の標準予防策である手洗い・うがいの励行、バランスのとれた食事等を心がけ、感染予防に努めましょう。また、体調が悪い時は人混みを避け、無理せず十分な休養を取り、早めに医療機関を受診するとともに、咳エチケットなどの配慮も大切となります。インフルエンザが流行すると、特に高齢者や慢性疾患を持っている人、疲労気味・睡眠不足の人は、罹患したとき重症化する可能性が高くなるので特に注意が必要です。また、空気が乾燥すると、咽頭粘膜のウイルス粒子に対する物理的な防御機能が低下するため、インフルエンザに罹患しやすくなります。外出時にマスクを使用したり、室内では加湿器などを使うなど、適度な湿度を保ち、喉の粘膜の保護に心がけましょう。【今週の警報】インフルエンザ(山梨県)

富士・東部管内流行情報

インフルエンザが流行しております。別添、山梨県インフルエンザ流行マップをご参照ください。

定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	144063	29.11	2240	0.71	813	0.26	7700	2.44	23901	7.56	1399	0.44
山梨県	1123	28.08	7	0.29	-	-	43	1.79	171	7.13	2	0.08
中北	420	32.31	2	0.25	-	-	9	1.13	64	8	1	0.13
中北峡北	254	31.75	2	0.4	-	-	22	4.4	30	6	-	-
峡東	156	22.29	-	-	-	-	3	0.75	22	5.5	-	-
峡南	47	15.67	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
富士・東部	246	27.33	3	0.6	-	-	9	1.8	52	10.4	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1077	0.34	1235	0.39	1300	0.41	38	0.01	51	0.02	962	0.3
山梨県	3	0.13	1	0.04	7	0.29	-	-	-	-	3	0.13
中北	3	0.38	-	-	2	0.25	-	-	-	-	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.25	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	3	0.6	-	-	-	-	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	13	0.02	270	0.39	10	0.02	17	0.04	102	0.22	4	0.01
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	2	0.2	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	5週		4週		3週		2週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	減少しています	平年並みです	28.08	1123	38.53	1541	38.23	1529	40.85	1634
RSウイルス感染症	減少しています	平年並みです	0.29	7	0.67	16	0.46	11	0.83	20
咽頭結膜熱	-	-	-	-	-	-	-	-	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや減少しています	たいへん流行しています	1.79	43	2.08	50	1.46	35	1.5	36
感染性胃腸炎	やや減少しています	平年並みです	7.13	171	8.38	201	7.75	186	10.67	256
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.08	2	0.21	5	0.13	3	0.58	14
手足口病	-	-	0.13	3	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	0.04	1	-	-	-	-	0.08	2
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.29	7	0.29	7	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.04	1	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.11	1	0.33	3	0.44	4
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.2	2	-	-	-	-	0.1	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
四類感染症	レジオネラ症	中北	男	89
五類感染症	後天性免疫不全症候群	中北	男	46